

蚊やダニなどが媒介する

保健室だより
2025年8月号
学生支援センター保健室



夏の感染症

定期試験も終わり、待ちに待った夏休みが始まりましたね。
海や山、キャンプにBBQと野外レジャーを計画している人も多いと思います。
が、油断は大敵！
野外に潜む蚊やダニには病気を持っているものもあり、刺されないよう注意が必要です。



蚊やダニなどが媒介する主な感染症



日本脳炎

潜伏期間：1～2週間
症状：突如の高熱、頭痛、嘔吐などを伴って発病。
意識障害や麻痺などの神経障害を引き起こす病気。
感染経路：感染した豚を吸血した蚊

デング熱

潜伏期間：2～4日間
症状：急激な発熱で発症。発疹、頭痛、骨関節痛、嘔吐などの症状を伴います。
感染経路：感染した患者を吸血した蚊

つつが虫病

潜伏期間：5～14日間
症状：全身の倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などを伴って発症。体温は段階的に上昇し、数日で40℃に達することもあります。
感染経路：病原体を保有するつつが虫

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

潜伏期間：6～14日間
症状：発熱、全身倦怠感、消化器症状。重症化すると命に危険が及ぶこともあります。
感染経路：SFTSウイルスを保有するマダニ。感染した犬や猫などを介して感染することもあるので、注意が必要。

エキノコックス

潜伏期間：数年から数十年
症状：肝機能障害など
感染経路：エキノコックス(寄生虫)による感染症。キタキツネが主な感染源。沢や川の生水は、虫卵に汚染されている可能性があるため、飲まないように。



蚊やダニに咬まれないポイント



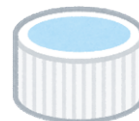
- 肌の露出を少なくする
 - ・長袖、長ズボンなどを着用
 - ・足を完全に覆う靴を履く(サンダルは避ける)
- ⇒特にダニ対策として
 - ・シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる。
 - ・帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く。
 - ・野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認。
特にわきの下、脚の付け根、手首、膝の裏、胸の下、髪の毛の中などに注意。
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する



出典：厚労省 動物由来感染症

ダニに咬まれた時の対処法

- 無理に引き抜こうとせず、皮膚科など医療機関で処置してもらう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱などの症状が認められた場合は医療機関で診察をうける。



ペットボトルの
キャップ 約3cm



マダニ(吸血後)約1.5cm
(吸血前)約0.5cm